



「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」での投資について ～膝軟骨再生医療に取り組む「株式会社 Arktus Therapeutics」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）が出資・運用する「京銀未来ファンド3号」は、「株式会社 Arktus Therapeutics」へ投資いたしました。

「株式会社 Arktus Therapeutics」は、京都大学の最先端のiPS細胞研究の知見と佐賀大学の細胞3Dプリンティング技術を融合させた独自の再生医療技術により、多くの人々が抱える膝の痛みの解決に挑むベンチャー企業です。

同社が研究するiPS細胞由来の膝軟骨インプラントは、従来法では対処が難しい複雑な曲面を持つ膝関節の痛みや機能障害を、患者自身の細胞を使用して治療することで、より自然な運動機能の回復を実現します。この技術は、国内で約1,000万人の患者がいるといわれる変形性膝関節症の新たな治療法として期待されています。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 Arktus Therapeutics
代表者	代表取締役 大岩 智大
所在地	京都市左京区吉田本町36番地1 国際科学イノベーション棟西館1階104号室
設立	2023年7月
事業内容	iPS細胞を用いた膝関節変形症治療法の研究開発

2. 投資額

30,000,000円

3. 投資について

本件投資により「株式会社 Arktus Therapeutics」は、事業の研究開発を進めてまいります。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号)
投資対象	<ul style="list-style-type: none">・ 京都銀行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業・ 京都銀行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
京都銀行出資額	19億80百万円
設 立	2022年3月31日
存続期間	10年（2022年3月～2031年12月）

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

